

6月定例会のお知らせ

【場所】市役所5階議場及び各委員会室

【時間】午前9時から

【日程】

- 6月4日(月) 開会、議案の説明
- 12日(火) 市政に対する一般質問
- 13日(水) 市政に対する一般質問
- 14日(木) 市政に対する一般質問
- 18日(月) 議案の審査(常任委員会)
- 19日(火) 議案の審査(常任委員会)
- 28日(木) 委員長報告～採決、閉会

※変更する場合があります

意見書(要旨)

横須賀高等学校の存続を求める意見書

静岡県教育委員会は、今後10年間程度を見通した「ふじのくに魅力ある学校づくり推進計画」を策定した。その計画において、横須賀高等学校と池新田高等学校の改編が記載されている。

現在、浅羽中学校の約15%の生徒が横須賀高等学校へ通学している。改編により横須賀高等学校が存続しなくなった場合、進学の実績が狭義になり、通学が困難になる問題も発生する。

横須賀高等学校を存続とした計画となるよう再考することを強く要望する。

静岡県知事、静岡県教育委員会教育長、静岡県議会議長あて

討論(主なもの) 平成30年度袋井市一般会計予算に対して

反対 浅田二郎議員(日本共産党)

アベノミクスという経済政策が進む中で、大企業や富裕層は肥え太り、内部留保を大きく増やしている。政府は景気が良くなり「いざなぎ景気」を超え、5年を超える長期景気拡大としているが、庶民にはその実感がない。本市でも生活保護世帯は過去最高となり、国保税では減免世帯が増加している。自治体の役割は住民の福祉の増進・向上にあり、市民の暮らしが大変な今、支え、応援することが重要である。しかし、今回の予算は、国民健康保険特別会計繰出金の大幅な減額、要保護・準要保護児童生徒就学援助費の全国平均からかけ離れた給付率等、実に不十分である。以上のことから反対する。

賛成 戸塚文彦議員(緑風会)

今回の一般会計の予算総額は323億5,000万円で、前年度当初予算と比べると1.5%の減である。財政健全化をにらみながらの予算編成となり、限られた財源の戦略的かつ効果的な配分により、「コミュニティセンターを拠点とする地域づくり」や「ラグビーワールドカップ2019に向けたまちづくり」など、創意工夫に満ちた取り組みが盛り込まれている。財政運営も、「経常収支比率」は少しずつ高まりを見せているものの、枠配分方式を中心とした事業の見直しや、特定財源の確保により、確実に収支改善が図られていることをうかがわせるものである。以上のことから賛成する。

議案に対する議員の賛否

○：賛成 ×：反対 △：棄権 ー：欠席または除斥 <議長(高木清隆)は、採決に参加しません。>

賛否が分かれた議案	森杉典子	村井勝彦	佐野武次	木下正	竹野昇	寺田守	山田貴子	鈴木弘睦	戸塚哲夫	田中克周	高木清隆	近藤正美	伊藤謙一	岡本幹男	浅田二郎	高橋美博	村松尚	大場正昭	戸塚文彦	大庭通嘉
平成30年度袋井市一般会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度袋井市国民健康保険特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度袋井市介護保険特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度袋井市水道事業会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
袋井市介護保険条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

これも地域情報化の取り組みです

生活道路の損傷、公園施設の不具合、ゴミの不法投棄などを見かけませんか？

本市(ICT街づくり課)では、ICTを活用した地域情報化の取り組みとして、身近な情報を市役所に寄せる新しいシステム「フッピーVoice」を導入しています。地域の問題をスマホで撮ってメールで直接報告できます。どうぞご利用ください。

(広報委員：近藤正美)

安全安心な地域づくりに一役

